

糸魚川市の魅力ポイント

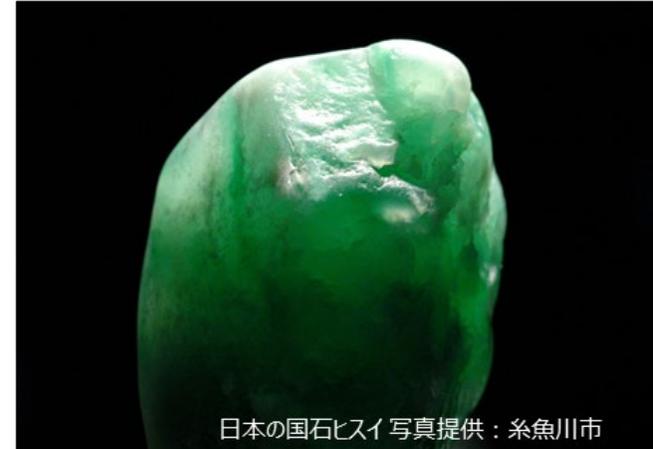
■面積 746.24km² ■人口 約4.0万人 ■指定地域 豪雪、特定農山村、振興山村、過疎■ **日本初**のユネスコ世界ジオパークのまち

- ・日本海から、北アルプスの山々まで壮大なスケールで広がる緑の大地。
- 2つの国立公園 (妙高戸隠連山、中部山岳) と3つの県立公園 (久比岐、白馬山麓、親不知・子不知)
- 8つの漁港と6つの海水浴場!

※ジオパーク：「地球・大地 (Geo)」と「公園 (park)」を合わせた造語

■ **日本一**の石ころタウン!

- ・フォッサマグナの上にある糸魚川は、岩石の種類が豊富!
- ・国石「ヒスイ」(2016.9.24選定)、新潟県の石「翡翠」(2022.11.4指定)

出典：糸魚川の自然の特徴/糸魚川市 (itoigawa.lg.jp)出典：<特産品> ベニズワイガニ漁の解禁 (糸魚川市) / 糸魚川市 (itoigawa.lg.jp)

日本の国石ヒスイ 写真提供：糸魚川市

出典：日本の国石 ヒスイ | 糸魚川ジオパークについて | 糸魚川ユネスコ世界ジオパーク (geo-itoigawa.com)

糸魚川市の課題

■ 政策分野 公共事業

（前提）幹線道路である国道8号、高規格道路のトンネル等の整備（渋滞・安全対策）が必要

■ 大型公共事業（高規格道路、トンネル等）に伴う発生土の処理

親不知道路・糸魚川東バイパス、松糸道路の整備に伴う発生土（約200万立米規模、時期未定）について、処理するための敷地がない。（さらに急峻な地形から災害発生土も存在。）

⇒利活用に向けた10～20年スパンの大きな構想を作っていかなければいけない。そこで全国の事例を応援隊から教えてほしい。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 6月に現地訪問を実施し、大型公共事業候補地、発生土の埋立候補地について視察
- 「建設発生土の利活用事例集」、「建設発生土の官民有効利用マッチングシステム」について情報提供
- （隊員変更に伴い）8月にオンラインで顔合わせを実施。問題意識の再共有

今後の方針

- 現地訪問を実施し、“その他の地域課題への対応も含めて”意見交換を実施予定。
- 地すべり巡視の課題に対しての、DX化について相談を受ける予定。
 - ・地すべり巡視員による人海戦術も限界にきている（高齢化、人手不足）
 - ・現地に通信可能な監視カメラの設置により常時監視できる体制の構築などを行いたい。（デジタル田園都市国家構想交付金の活用など）